

セミナー通信

教育実習総合センター



5月号

平成二十九年度

スタートに当たって

教育実習総合センター長



米田 豊

新年度がスタートし、教員採用試験まで残り3ヶ月をきった。年度初めは諸行事で時が流れる。じっくり腰をすえて、勉強に励んでいただきたい。とりわけ、新しい学習指導要領とそれに至る答申に目をとおり、万全を期してほしい。

そのキーワードの一つは、「資質・能力の育成」である。コンテンツ・ベースからコンピテンシー・ベースへの転換は、「何を知っているか」ではなく、実際の問題状況で「何ができるか」といった能力の育成を重視することを意味する。これをふまえてどのように授業を構想すればよいか。自分の得意とする教科の具体で示せるようにしてほしい。他のキーワードについても同様である。

三月末日で副センター長の藤原悟先生、コーディネーターの笹倉政之先生、西本弘子先生がご退任されました。



教育実践セミナーの活用を!

実践サポート

教育の今日的課題等に対応するため、豊富な教育実践を有するセンタースタッフや現職のスーパーバイザー、近隣の学校訪問等を通して、大学院における学びの根幹である「理論と実践の融合・往還」を支援します。

教採サポート

教育課題の考察や論文の指導を通して論理的思考力を深め、教師として必要な資質能力を高めます。また、模擬授業演習や面接指導・演習を通じて、様々な場面に対応できる教採対策を支援します。

実習サポート

連携協力校での実習を円滑かつ効果的に進めるため、迷い悩んでいることについて教育相談を行い、助言します。

セミナー通信

学校教育現場に関する情報、教員採用試験に関する情報、セミナーに関する情報など重要な情報を提供するため、セミナーの活動を発信します。

セミナーアンケート・院生代表者会議

よりよいセミナーにするため、セミナー受講生の意見や要望を取り入れます。

教育講演会のご案内

教育実践セミナー「教育講演会」

「歌の力を信じて」

～阪神・淡路大震災から22年～

講師 神戸市立高羽小学校主幹教諭 臼井 真 先生

日時：6月7日(水)

午後2時50分～午後4時20分

場所：教育子午線ホール

♪しあわせ運べるように♪
♪地震にも 負けない 強い心をもって・・・♪



【講師紹介】
震災直後に作詞作曲された楽曲「しあわせ運べるように」は、広く海外でも歌われる「希望の歌」になっていきます。小学生のためのオリジナル曲は四百曲以上。歌に込めた願い、歌の力を臼井先生に語っていただきます。

平成23年度 文部科学大臣優秀教員表彰
平成26年 神戸新聞「平和賞」受賞
公式サイト「しあわせ運べるように」
<http://www.shiawasehakoberyouni.jp/>

【参加対象】

・教職大学院各コース及び修士課程の大学院生
・学校教育学部学部長

★ 教採情報

★ 願書受付始まる!

平成30年度教員採用候補者選考試験の日程や実施要項が各県市のHP等で発表され、願書の受付も始まりました。試験会場が複数で実施される場合もあります。特に複数受験を考えている皆さんは、日程と会場をしっかりと確認し、効率的な受験計画を立てましょう。また、大学院在学者・進学者に対する特別措置を講じている県市もあります。しかし、その資格要件や内容はそれぞれ異なります。特別を活用する場合は、よく確認しておく必要があります。

◆ 求める教師像を確認しよう!

受験するにあたり、自分は何ぞその県市を希望するのかを明確にしておきましょう。

「本県市を希望する理由」は、願書や個人面接、集団面接等で必ず聞かれる内容の一つといっても過言ではありません。どの自治体も、他にはない特色ある教育を推進しようとする計画を立てています。その特色は何かをしっかりと捉えて受験することが大切です。一方、どの自治体にもある程度共通する内容もあります。それは「求める教師像」とか「めざすべき人間像」といわれるものです。複数の県市の「求める教師像」や「めざすべき人間像」を比較して読むと、そのことがよく分かります。大切なのは、各県市のめざすところをしっかりと踏まえた上で、自分がなぜ希望したかを自分なりの言葉で、自信をもって述べる事ができるようにしておくことです。

☆ 教採直前面接指導は6月2日(金)から申し込み開始!

申し込みの方法はセミナー冊子一六頁に記載されています。個人面接(希望により集団面接)の対策を練習します。一日に一人一回に限り希望できます。計画的に活用しましょう。

☆ 模擬授業・面接のポイント

二・三年次 実践・教採サポートから教育実践セミナーでは、4月から、模擬授業演習を行っています。5月中旬からは、面接指導・演習(集団面接・集団討論)も行われます。さまざまな演習を直接的・間接的に体験することにより、確かで高度な実践力を養うとともに、教採対応力を身につけることがねらいです。セミナーで使われた資料の中から、ポイントをいくつかあげて確認してみましょう。

【主なポイント】

- 1 魅力ある授業ができる姿勢(資質)がある人か?
- 2 児童生徒に理解させようとする熱意がある人か?
- 【具体的なポイント】
- 1 教室の児童のイメージを具体的に持っているか?
- 2 指導内容や用語は学年や発達段階に応じて適切か?
- 3 個に応じた適切な対応ができる人か?
- 4 適切な板書ができる人か?
- 5 態度、服装、言葉づかいは適切か?
- 6 明るく元気な表情・態度で授業を進めているか?
- 7 授業の終末までの展開を考えているか?
- ◎ 自分の持ち味・強みを最大限発揮するために、繰り返し練習し、仲間やコーディネーターに見てもらったことが大切だ。

● 意見・感想を募集

本年度も教採や実習等に役立つ教育情報をタイムリーに発信します。セミナー通信が、教育実習総合センターと皆さんをつなぐ一つのツールとして役立つよう遠慮なくご意見・ご感想をお寄せください。

問い合わせ先

教育実習総合センター
(自然、生活・健康棟2階)
月・水・金曜日にお問い合わせします

